

自主化への歩み チュチュエ思想研究普及活動

—チュチュエ思想国際研究所創立45周年を祝う—



ラモン・ヒメネス・ロペス

チュチュエ思想国際研究所理事長
メキシコ国立技術研究所総局長

わたしたちは、金日成主席生誕111周年、チュチュエ思想国際研究所創立45周年を記念してお祝いを申し上げます。金日成主席の思想と実践との相互作用なくして、チュチュエ思想国際研究所の創立について語ることはできません。

金日成主席は1977年9月、“世界の人々がチュチュエ思想を要求しています。それゆえにチュチュエ思想に関する国際組織を設立することが重要です。この機構の重要性は、自国内の問題を自力で解決できる経験的情報、資料を各国にあたえることにあります。革命は輸出できません。したがって、この国際組織はあくまで学術的組織でなければならず、政治団体にはなりません。なぜなら、政治組織、団体にするには、革命を輸出することを意味するからです”と述べています。

この内容は主席が1930年カリュンでおこなった演説の主要部分をわたしたちに想起させ

ます。

「経験は、革命を勝利に導くためには人民大衆の中にはいり、人民大衆を動員し組織化し、おかれた状況に即して、他者の支援を切望することなく、自主的に自分自身の責任で、諸問題を自力で解決しなければならないことを立証しています」

「われわれはこの教訓から、朝鮮革命の主人は朝鮮人民であり、朝鮮革命はあくまでも朝鮮人民自身の力で、朝鮮の実情に即して遂行しなければならないという確固とした立場と態度をもつことがもっとも重要であると見なします」
〔朝鮮革命の進路〕1930年6月30日

金日成主席は、全人類の幸福と万民の友愛、自主と世界平和のためにたたかいました。

昨今、人類は現世代および次世代にとってきわめて重要な過渡期に遭遇しています。わたしたちは、帝国主義国が事実上、世界のすべての

国々に新自由主義グローバリゼーションを強要したいいわゆる一極支配時期（歴史の終焉、特に社会主義の終焉を喧伝しながら）から多極化時期へ移行しています。多極化時期では各国が自力で、自国固有の歴史や文化そして特異性に即して国の運命を決定し、国を建設します。そして人民大衆は大変革の主人公なのです。

金日成主席がつねに強調したように人民大衆が主人公であるということはチュチュ思想の基本原則の一つです。チュチュ思想国際研究所は、各国の革命の主人公として人民大衆の役割をいっそう高め、みずからの力にもとづき自国の実情に即して革命を遂行するようにチュチュ思想を幅広く普及してきました。

自主、世界平和、全人民の友愛および幸福を求める人類の新時代はいまだ実現しておらず、帝国主義国の軍隊配備や鎖から解放されていません。人民大衆の潜在的創造力と自主と主権のためのたたかいについて、人民大衆が明確に認識することが求められています。

確固不動だと思われていた新自由主義は歴史のごみ箱に捨てられています。利己主義、人種主義、あらゆる差別、市場経済、ドルが基軸通貨として威力を発揮することなども同様です。

人類繁栄の新時代にチュチュ思想は、よりよい世界を目指す人々のたたかいを導く強固な指針になっています。チュチュ思想国際研究所の役割が重要である由縁はここにあるのです。それゆえ、わたしたちは世界のチュチュ思想研究者一人ひとりが各々の国で自主の新時代の到来に着実かつ敏捷に貢献するために果たさなければならない役割を自覚しつつ、樂觀に満ちてチュチュ思想国際研究所創立45周年を祝賀しているのです。

自主の新時代では、各国の人民大衆が外国勢

力の干渉なしに自分たちでみずからの運命を決めます。自主の新時代において帝国主義国は多数の国に自分たちの略奪および人材、財源、資力や天然資源の過剰開発モデルを押しつけ続けることはできないので、この時代は世界人類史における特出した時期といえます。

米国は軍事的、経済的ヘゲモニーを失いました。そして金融危機でもがいています。

帝国主義国内外の革命的進歩勢力の課題は、危機は核戦争、地球上の生命絶滅を招く戦争によって解決されるだろうとの考えに反対することです。帝国主義国、とりわけフランスでは人民大衆の抗議デモや不満が非常に際立ってきました。米国においては好戦的グループと非戦争派の間で対立が生じています。対立は限界に達してドナルド・トランプ前大統領の起訴、逮捕をもたらしました。

他方、諸国間ではドルを捨てて自国通貨で貿易をする協定が目立っています。こうした行動は中国、ロシア、インド、イランなどの国々によって主導されています。同諸国はサウジアラビアをはじめペルシャ湾岸諸国と自主的な友好関係にあります。また、国民の利益のために関係を再構築する方向で国家主権尊重、内政不干渉そして発展協力を求めながら、自主的にラテンアメリカの進歩的政府や民主主義政府に接近する国々が増えており、移民問題の新しくより人道的な解決がもたらされています。

キューバに対する封鎖解除を要求する声が高まっています。ラテンアメリカの進歩的勢力は、民主主義選挙によって自力で自国の（経済的、歴史的、社会的および文化的）実情にもとづいて寡頭体制を打倒しました。

人民大衆が自主、世界平和、全人民の幸福、連帯、万民の友愛に向かってすすむべき道を選

んでいる国々が日毎に多くなっています。このことは、地球上の多国間関係の発展を強化します。

これが偉大な指導者、金日成主席が発展させ一生涯ずっとたたかひの指針となった思想、また金正日総書記が体系化し、金正恩総書記が実践に適用している思想の真髄、核心です。

朝鮮民主主義人民共和国はヒューマンイズムの模範となっています。なぜなら、人民大衆が社会主義建設と発展において何の不足もないように、また幸せに暮らせるように愛情と慈しみをもって人民大衆を第一に配慮しているからです。

一方、朝鮮は先軍政治によって米国、韓国および日本の戦争策動と対決するために軍事強国を建設しました。

チュチュエ思想国際研究所は45年間、自己の崇高な使命を果たし、各国の自主化と世界平和偉業を推進する課題を遂行してきました。新自由主義の一極支配からそれぞれの国が外国の干渉なしに自国の運命を決定し、他国との連帯と友愛の絆を強め、全世界の人民大衆の利益を擁護する新時代への過渡期に、自主の道を歩みはじめる国々が多くなっています。

わたしは、金日成・金正日主義の基柱であるチュチュエ思想を各国、各地域で研究普及し、チュチュエ思想の原理を各国の具体的な現状分析に適用し、自己の運命の創造者である人民大衆を変革の主人公とみなすことを基本にすえて努力されているチュチュエ思想国際研究所創立45周年記念行事に参加されたみなさまに愛情をこめて挨拶をおくります。



2023年4月15日、東京で開催された「金日成主席生誕111周年・チュチュエ思想国際研究所創立45周年記念チュチュエ思想研究セミナー」

わたしは、チュチェ国際研究所の重要な活動を継続して発展させるために、チュチェ思想国際研究所の尾上健一事務局長が、組織的、知的努力をしていることを、また、朝鮮社会科学者協会の献身についてよく知っています。

世界の国々から800人が集い、東京でチュチェ思想国際研究所創立大会が開催されたのは1978年4月9日でした。

その時以来、チュチェ思想研究普及活動は、反社会主義宣伝や朝鮮民主主義人民共和国に対するたえまない脅威、ベルリンの壁崩壊やソビエト社会主義共和国連邦の解体を経たなかでも、中断することなく遂行されてきました。それゆえ、わたしは長い間ずっとチュチェ思想の旗を高く掲げてきたチュチェ思想を信念とする人々に敬意を表しているのです。

今日みなさんは、金日成・金正日主義の新時代にチュチェ思想を研究普及しています。金日成主席と金正日総書記の業績は金正恩総書記によって継承されています。

わたしは、新世代が、金日成・金正日主義をより熱心に研究普及することを、また、記念行事の全参加者が世界を自主化するたたかいを導くうえで貢献することを願っています。日頃の金日成・金正日主義の研究普及方法と結びつけながら、新しい普及方法を展開し、高度な通信科学技術にもとづいて各自が理論水準を上げるよう手助けしたいと思います。また、各国の特有な状況に即して変革がおこなわれるよう協力したいと思います。

(2023年4月15日「チュチェ思想研究セミナー」(東京)におけるオンライン講演)